

まちづくりの進め方




まちづくり計画の内容は多岐にわたるため、一度にたくさんのごことに取り組むよりも、長期計画で取り組む必要があります。取り組みやすさや、取り組む主体の多さなどに応じて、計画的に進めます。

重点的に取り組む項目	短期 (1～3年)	中期 (4～6年)	長期 (7年以上)
交流促進のための取組	■■■■		
地域内外の住民の スポーツ振興・健康増進の取組	■■■■■		
趣味・文化・集い場形成の取組 (こみせんでの活動企画)	■■■■■		
高齢者の暮らし支援・互助の取組		■■■■■	
防犯・防災・安心安全な 地域づくりの取組	■■■■■		
観光客の誘致・へそ公園等の活用	■■■■■		
移住・定住・起業の促進		■■■■■	
少子・高齢・晩婚化対策		■■■■■	
空き家の活用		■■■■■	
農業・農地の維持		■■■■■	

■■■■■ 色の濃いものほど、ふるさと夢会議メンバーの取組意欲が強いもの=より実現したいものを示します

ふるさと夢会議のあらまし

この計画は、地域住民の皆さんが集まって、8回にわたる「ふるさと夢会議」を開催し、そこでの話し合いを経て作成されました。以下はその「ふるさと夢会議」の記録です。

年月日	テーマ	会議の様子
令和4年 7月16日	参加している皆さんへの「まちづくり講演会」 まちづくり計画策定に向けたスケジュール確認	
9月 3日	比延地区のよいところ・よくないところの抽出 第2期まちづくり計画の評価、取組の方向性確認	
10月15日	比延地区のよいところ・よくないところの抽出 第2期まちづくり計画の評価、取組の方向性確認	
12月10日	比延地区の課題の解決主体による仕分け作業 課題の重要度と、解決のしやすさによる仕分け作業	
令和5年 1月27日	課題解決のためのアイデア出し 第3期まちづくり計画素案作成	
2月16日	第3期まちづくり計画の取組内容についての検討 第3期まちづくり計画のテーマ・キャッチコピーの検討	
3月17日	第3期まちづくり計画案のまとめ まちづくりの取組の実施計画についての検討	
5月13日	第3期まちづくり計画の最終確認	

令和5年(2023年)5月 比延地区自治協議会
西脇市鹿野町720-1 電話:0795-24-0120

みんなが住みたい暮らしたい 夢があふれる比也野里

—比延地区まちづくり計画(概要版)—



令和5年5月
比延地区自治協議会



ええまち比也野里の
活動を日々更新中

[まちづくりの目標]

みんなが住みたい暮らしたい夢があふれる比也野里

みんなで力を合わせて目指す 地域の将来像

多くの人たちが笑顔で
交流できる地域を目指す

多くの人助け合いにより
安心して暮らせる地域を目指す

地域外の人たちも関わりたくなる
元気な地域を目指す

みんなで力を合わせて取り組むこと

多くの人たちが笑顔で交流できる地域となるために

① 交流の促進のための取組

- 多様な参加者を得るため、こみせんの交流プログラムを SNS 等で発信する

② 地域内外の住民のスポーツ 振興・健康増進の取組

- 比延地区のトレッキングコースを整備・充実化して健康づくりを促進する
- 地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」をつくる



③ 趣味・文化・集いの場形成の取組 (こみせんでの活動企画)

- 小中学校とも連携した、比延地区の「大文化祭」を開催する
- 子どもたちが集えて楽しめるプログラムを企画・開催する
- 将棋教室などを運営する
(教え教えられる地域内カルチャーセンターの取組)
- 調理したジビエ料理を地区外に販売 (鹿肉バーベキューなど)



みんなの助け合いにより安心して暮らせる地域となるために

① 高齢者の暮らし支援・互助の取組

- 車を運転できない高齢者等の移動を手助けする手段について考える

② 防犯・防災・安心安全な 地域づくりの取組

- 防犯カメラの増設を進める
- 消防自動車の分団内での相互活用を進める



地域外の人たちも関わりたくなる元気な地域となるために

① 観光客の誘致・へそ公園等の活用

- へそ公園一体を比延地区でプロモーションする

② 移住・定住・起業の促進

- 空き家を活用し移住者の受け入れを進める
- 移住して起業したい人に場所を提供する仕組みをつくる



③ 少子・高齢・晩婚化対策

- 出会いの場づくり、お見合いパーティー等を開催する

④ 空き家の活用

- 空き家を有効活用するプロジェクトチームを立ち上げる

⑤ 農業・農地の維持

- 休耕農地を利用して貸し農園を作る (野菜作り指導)
町外及び若者に農地を貸す
- 竹林の整備、竹をチップにして肥料として活用する
- 野菜の無人販売所をつくる
- 比延地区の特産品を生み出すプロジェクトチームを立ち上げる



⑥ 地域内の移動手段を守る

- JR 加古川線の利用促進について考える
- むすブン・おりひめバスの利用を進める

